



平成22年 8月 2日

各 位

会社名 メルクス株式会社
代表者名 取締役社長 榎 田 了
(コード番号：7934 東証第2部)
問合せ先 執行役員管理本部長 内 海 潔
(TEL. 0265-22-2910)

当社株式の時価総額に関するお知らせ

当社株式は、平成22年7月において、時価総額が6億円未満となりましたので、今後の見通し等につきましてお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成22年7月末終値において時価総額が6億円未満となりました。東京証券取引所有価証券上場規程第601条第1項第4号aでは、9ヶ月（事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面を3ヶ月以内に東京証券取引所に提出しない場合にあつては3ヶ月）以内に、毎月の月間平均時価総額及び月末時価総額が6億円以上（注）とならないときは、上場廃止になる旨規定されております。

（注）上場株券に係る時価総額基準については、平成21年1月末より平成22年12月末まで、一部変更した当該基準の適用を延長する旨、東京証券取引所より公表されております。

（ご参考）

| | |
|----------------------------------|--------------|
| ① 平成22年7月の月間平均当社株式時価総額 | 658,430,883円 |
| ② 平成22年7月末日（7月30日）現在の当社株式時価総額 | 573,791,187円 |
| （7月末終値 29円×7月末上場株式数 19,785,903株） | |

2. 今後の見通しについて

当社グループは、平成21年3月に、外部環境の激変を考慮して、さらに踏み込んだ施策を盛り込んだ中期経営計画の改定を行い、業績の回復に努めております。当社グループの中国における連結子会社佛山市メルクス皮革有限公司では前連結会計年度において、売上高は減少したにも拘らず計画を上回る黒字を計上することができました。また、当社においても原皮費・薬品費等の効率化、生産工程の合理化などの施策を経営計画に沿って継続的に実施し、加えて、昨年12月には希望退職を実施するなど、固定費の削減にまで踏み込んだ施策も実施してまいりました。こうした施策の効果により

損失額および損失幅は改善に向かっていること、および前連結会計年度の第 4 四半期において底打ちと判断できる状況に到達できたことなど、遅れが生じているものの、当該中期経営計画の有効性は失われていないと判断しております。今後とも当社グループでは、海外業務の拡大や技術開発の実用化とともに、中期経営計画に沿って収益の改善を図り企業価値の向上を目指してまいります。

今後の展開につきましては、予断は許さないものの、主原料として天然素材である牛原皮の多くを輸入に頼る当社にとって、昨今の環境意識の高まりや為替相場の円高基調は、中期経営計画進捗の背景としては好ましいものであることから、業績の回復も遠いものではないと考えております。

また、現在の財政状態につきましても、繰越欠損金はあるものの、自己資本比率、1 株当たり純資産額からみて危険な水準にあるとは考えておりませんが、今後は投資家の皆様から相応のご評価を頂けるよう、IR 活動の充実に努め、信頼を回復することによって、東京証券取引所での上場を維持するよう努めてまいります。

なお、今後 3 ヶ月の間に東京証券取引所に対し「事業の現状、今後の展開、事業計画の改善その他東京証券取引所が必要と認める事項を記載した書面」を提出する予定であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なご心配をおかけいたしますが、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上